あとがき

〈編集顧問〉
和泉　徹
太田保世
小川　聡
諏訪邦夫
永井良三
堀江孝至

〈編集委員〉
小室一成
巽　浩一郎
橋本　修
平山篤志
福田恵一
三嶋理晃

〈編集協力委員〉
赤石　誠
大江元樹
北風政史
小山信一郎
中沢　潔
（五十音順）

本号の特集「薬剤性肺障害の臨床」は，薬剤性肺障害の臨床病型・発症機序，薬剤性肺障害の診断，薬剤性肺障害CT画像診断のポイント，急性の経過を呈する薬剤性肺障害，抗悪性腫瘍薬による薬剤性肺障害，抗リウマチ薬による薬剤性肺障害，などの最新の話題について執筆して頂いた．

日本呼吸器学会は，2006年に「薬剤性肺障害の評価，治療についてのガイドライン」を，厚生労働省は「重篤副作用疾患別対応マニュアル」を発刊し薬剤による肺障害の認知と診断の向上に努めてきた．その後，2012年に改訂版「薬剤性肺障害の診断・治療の手引き」が発刊された．この間に，分子標的薬で治療される悪性腫瘍症例の増加に伴い，分子標的薬による肺障害症例が増加し，その臨床像も間質性肺炎，肺障害，肺胞出血，血管炎，など多彩なパターンを呈する．また，新規抗リウマチ薬による肺障害，TNFα阻害薬などの生物学的製剤投与に伴う感染症の発生が増加し，呼吸器科医のみならず，各専門領域の医師が薬剤性肺障害や感染症の発生に細心の注意を払うようになった．

本特集は，「薬剤性肺障害の臨床病型・発症機序」では発症機序と臨床病型を関連づけて解説され，「薬剤性肺障害の診断」では鑑別診断に必要な検査項目を述べ診断方法について記述している．「薬剤性肺障害CT画像診断のポイント」では病理組織像と胸部CT所見を対比させながら解説し，「急性の経過を呈する薬剤性肺障害」では肺水腫の概略の解説をまじえて非心源性薬剤性肺水腫，心源性薬剤性水腫，薬剤性ALI/ARDSを解説し，急性の経過を呈する過敏性肺炎・肺胞出血を解説した．「抗悪性腫瘍薬による薬剤性肺障害」と「抗リウマチ薬による薬剤性肺障害」では，最新の話題を中心に解説されている．薬剤性肺障害は，「何時でも，何処でも，誰でも」発生する可能性のある疾患で，本特集が，薬剤性肺障害の理解にお役に立てれば幸いである．

（橋本　修）

呼吸と循環（第61巻 第4号）

2013年4月15日発行（毎月1回15日発行）

定価2,835円（本体2,700円＋税5%）

2013年年間購読料
冊子版32,400円　冊子＋電子版/個人37,400円
冊子＋電子版/共有42,300円
電子版/個人32,400円　電子版/共有37,300円
（税込，送料弊社負担）

E-mail：kotojun@igaku-shoin.co.jp
Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun

発　行　株式会社　医学書院
代表者　金原　優

〒113-8719　東京都文京区本郷 1-28-23
電話　本誌編集室直通（03）3817-5703
（担当：吉冨・今田）
販売部直通（03）3817-5659
ファクシミリ（03）3815-7802
振替口座　00170-9-96693番
印刷所　三美印刷株式会社　電話（03）3803-3131
広告申込所　（株）文京メディカル　電話（03）3817-8036

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2013, Printed in Japan.
・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は㈱医学書院が保有します．
・本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は，「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています．大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です．また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります．
・JCOPY〈㈳出版者著作権管理機構 委託出版物〉
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています．複写される場合は，そのつど事前に，㈳出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969，FAX03-3513-6979，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください．

©IGAKU-SHOIN Ltd. 2013